

復興ニッポン cha・cha・cha!

被災地の復興のために汗を流し、知恵を出している災害ボランティアの頑張りをお伝えする < 支え合い、助け合い、協働 > のための情報紙です。「みんなは、どんな活動しているの?」今すぐ知りたい、アイデアや取り組み。災害ボランティア最前線からお届けします。(※chaは「care」「help」「act」の頭文字)

発行：仙台市災害ボランティアセンター

◆災害ボランティア・スナップ◆

被災者の方を応援するため、1日でも早く普段通りの生活を取り戻していただくため、活動する災害ボランティア。活動の様子を、写真でお伝えします。



● 救援物資の仕分けも数が膨大です。



● 企業から、ボランティアセンターのビブス提供も。



● ”なんと” 電気自動車のアイミーブをお貸しいただいています。



● 企業から、高圧洗浄機が提供されました。泥出しに活躍中。

● 泥出し作業後、うがいも大事な衛生管理のひとつ。



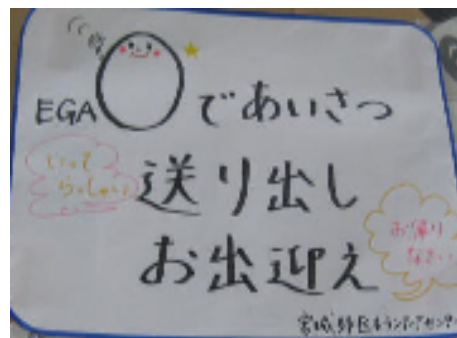
企業の社会貢献

EGAOは終わらない。

ご協力いただいている企業は、約 30 社。社員同士が参加している企業を合わせると、約 100 社に上ります。県内からは建設関係や電設関係の技術系が多く、県外からは商社や精密機器の企業が多いように感じます。運営スタッフとして関わっている方もいて、職員とボランティアの総勢 30~40 名が、朝 8:30 と夕方 16:30 から約 10 分の全体ミーティングを行っています。改善案も多く出され、そのつど変えていくので、運営センターのレイアウトやマッチングの流れも日々変わっています。

「EGAO であいさつ 送り出し お出迎え」のキャッチフレーズも、スタッフの声から生まれたもの。運営ボランティアの笑顔、現場から戻ったボランティアの達成感ある笑顔、それが素敵なんですよ。

6月1日から北部津波災害ボランティアセンターは南部と統合し、仙台市津波災害ボランティアセンターに変わりますが、EGAO は変わらず続きます。(仙台市北部津波ボランティアセンター 副センター長 庄子克彦さん)



はきはきとした声と丁寧な言葉づかいで電話対応されていたのは、「プロミス株式会社」のお客様サービスプラザのスタッフです。北部ボラセンで2名、南部で3名が活動しました。仙台お客様サービスプラザが2010年7月にオープンしたのを機に、震災前から仙台市社会福祉協議会に社会貢献について相談。震災以降、マスクや水など物品支援の後、人手不足を受けて運営スタッフに加わりました。

カウンセリングスキルは重要。

【ボランティアの声・こえ】
TVではわからなかった状況も
知りました。

埼玉の大宮から来て、状況がわからない不安はありました。ですが、初日に被災現場に連れて行っていただき、テレビではわからなかった状況も知ることができました。1日に10本くらい受ける電話では、相手の方を緊張させないように、こちらが構えないようにと心がけています。「もっと大変な人がいるのに申し訳ない」という気持ちを察しながらお話をうかがい、一人でも多くの方のお役に立てるように「同じようにお困りの方がいらっしゃったら、お声がけを」と伝えるようにしています。(大宮お客様サービスプラザ 細川敦子さん)

【ボランティアの声・こえ】
感情移入し過ぎないように、
気をつけています。

要請の電話を受けても、ボランティアが危険をとまなう作業は断らざるを得ない場合があります。「せっかく電話したのに」と気落ちされる方に、代替案を出して解決に近づけるようにしています。なかには、こらえきれず心情を吐露される方もおられます。お話は最後まで聞きますが、感情移入し過ぎると、かえってこちらが参ってしまうので、そこはわきまえながら。その点では、会社で受けてきたカウンセリングスキルの教育が生かしています。(仙台お客様サービスプラザ 伊藤悠一郎さん)

被災した企業だから、できることがあります。コンサート運営を行う「タスク株式会社」仙台営業所は、震災でイベントが中

今の動きが、未来を変える。



止に。新聞印刷を行う「株式会社ミノリ」仙台工場は輪転機が被害を受けて業務ができなくなりました。タスクのメンバー3名は、コンサートやイベント運営での誘導経験を生かし、調整班のリーダーとして大人数のボランティアを誘導。ミノリのメンバー12名は、黙々と着実に活動。いつもの印刷業務と異なり戸惑いもあったようですが、活動するうちに同僚同士で「あの人が人前で話すようになったよ」と声がるほど。新たな一面を発見する機会にもなったようです。

ウルトラ泥出しボランティア。

たたずまいから土木のプロフェッショナルとわかる方も、実は大勢。本業を生かして活動されたのは、土木建築工事を行う仙台市の「黒澤工業株式会社」です。4月6日から5月下旬まで、全国的なネットワークを生かし、関東圏の関連会社スタッフも含め1日4名、多い日は10名が活動しました。豊富な現場経験を生かすため、泥出しチームごとに1~2名ずつ配属。ポイントを押さえた作業法がチーム全員にレクチャーされ、通常4~5日かかる作業が3日に短縮。ノウハウが発揮されました。

想いを形に、復興の日まで

必要なものを、必要とされるときに、必要なところへ。「三菱商事株式会社」の迅速で適切な支援は、現場を運営する仙台市社会福祉協議会・仙台市災害ボランティアセンターからも称賛の声があがっています。震災当初の「支援金」は、ボランティア活動に必要な資機材の購入などにあてられ、次いで届いた「物的支援」は、現場で必要としている高圧洗浄機やスコップ・長靴など。さらに、現場で泥出し作業を行う社員ボランティアによる「人的支援」。修学が困難になった大学生を対象とする「緊急支援奨学金」など、被災地の状況に合わせて幅広くきめ細やかな支援が行われています。

特に人的支援では、社員ボランティアの方が10名ずつローテーションを組み、3泊4日の活動を1年にわたって行う予定で活動が進んでいます。青地に黄色いベストのユニフォームを身につけ、さわやかな笑顔で泥かき作業から戻ってこられた社員さん。のべ1200名にも及ぶ活動はもちろん、経済効果においても地域を支えています。

ニュースで被災地の様子を見て、自分でもできることがあればと参加しました。一人ではできないことも、みんなの力を合わせればできることがあるのではと、会社の復興支援プロジェクトに手を挙げました。(女性 50代 埼玉県在住)

【ボランティアの声・こえ】

1人ではできないことも、
みんなの力で。

キリンビールの仙台工場と仕事でやりとりがあり、仙台に思い入れがあったので来ました。今日は個人宅の泥のかき出しで、スコップも使いましたよ。宿泊は、近くのビジネスホテルが満室だったので、少し離れますが秋保から通います。(女性 30代 東京都在住)

【ボランティアの声・こえ】

仙台に思い入れがあり、
来ました。

●仙台市津波災害ボランティアセンター●

6/1から、南北2つのセンターを統合して津波被害地域全体の支援を行っています。

詳細情報はWEBで確認してください。http://www.ssvc.ne.jp/

設置場所 元気フィールド仙台・宮城野体育館（仙台市宮城野区新田東4-1-1）

電話番号 要請用（ボランティアに頼みたい方）：022（231）1320

希望者用（ボランティアをしたい方）：022（231）1326

●各区のボランティアセンターをご活用下さい●

仙台市社会福祉協議会、各区の社会福祉協議会に設置しているボランティアセンターでは、市民のみなさんからのボランティアの依頼を受け付けております。

お気軽にご依頼ください。



仙台市ボランティアセンター

仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ4階 電話：022-262-7294

各区ボランティアセンター

青葉区：仙台市青葉区二日町4-3

電話：022-265-5260 080-5949-7445（震災関係専用）

宮城野区：仙台市宮城野区原町3-5-20

電話：022-256-3650 080-5949-8735（震災関係専用）

若林区：仙台市若林区保春院前丁3-4

電話：022-282-7971 080-5949-8733（震災関係専用）

太白区：仙台市太白区长町南3-5-23

電話：022-248-8188 080-5949-7600（震災関係専用）

泉区：泉区七北田字道48-12

電話：022-372-1581 080-5949-7884（震災関係専用）

編集後記

先日、新潟の友人と山古志を訪ねました。6年前の中越大震災の爪痕がまだ残っています。集落が完全に水没した地区には家屋の一部が当時のまま残されていました。災害の記憶を風化させないために、あえてそのまま保存されることになったというこれらの家屋。そこに住む人々はどんな思いで見つめているのか。総合案内所で震災から復興までを映像や写真などで見せていただきました。記録すること、そして記憶にとどめておくことの大切さを思います。どこを歩いても自然の緑と美しい棚田、そしてそこに住む人々のおだやかな表情。まさに日本の原風景。全村民避難を乗り越え復興した山古志に希望を見た思いでした。（木村津谷子）

発行：仙台市災害ボランティアセンター 広報班 早川

TEL022-262-7294 http://www.ssvc.ne.jp/ 当紙がWEBで読めます！

編集：広報ボランティアチーム 遠藤、大谷、木村、佐藤、茂木、山田、佐々木、黒田

連絡先：仙台市災害ボランティアセンター Eメール sendai - vc@poppy.ocn.ne.jp

